

会 議 録

会議名	平成 27 年度 第 1 回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成 27 年 4 月 28 日 (火) 9 : 30 ~ 11 : 20
開催場所	四国コカコーラスタジアム丸亀 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡本 恵子 金 永 子 黒田 英津子 日野 明世 石原 茂 仁科 清 早馬 倫代</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">森 茂</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">市長公室長 山田 哲也 政策課長 大喜多 章親 政策課副課長 富士川 貴 政策課担当長 志村 芳隆 政策課主査 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 平成 26 年度外部評価結果への対応について</p> <p>2. 平成 27 年度行政評価について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
大喜多政策課長	<p>平成 27 年度第 1 回の丸亀市行政評価委員会を開会します。</p> <p>本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。皆様には、平成 25、26 年度と外部評価をしていただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>申し遅れましたが、4 月に異動してまいりました大喜多です。よろしくお願ひします。</p> <p>ここで、冒頭、皆様にご了解いただきたいことがあります。今回、事前送付の資料の中に、平成 27 年度行政評価資料を同封させていただきました。当初、現委員の皆様には、平成 25、26 年度の 2 回の評価にて終了する予定でしたが、委員任期が本年 8 月 25 日までとなっています関係上、9 月以降に次期新委員の方を委嘱して、27 年度の行政評価をしていただくことが、スケジュール上、困難となっています。そこで、任期終了までの短い期間とはなりますが、本年度の行政評価を皆様にお願ひしたいと考えております。いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><委員=了承></p>
大喜多政策課長	<p>ありがとうございます。短期間となりますので事務局としてもスムーズな運営をしたいと思ひます。これにつきましては、後ほど議事の(2)でご説明させていただきます。</p> <p>それでは、最初に、山田公室長より、一言ごあいさつを申し上げます。</p>

山田市長公室 長	<p>おはようございます。昨年9月26日に外部評価の答申をいただきました。17事業のうち9事業が改善必要となっていました。本日はその対応について報告します。</p> <p>また、今日は、こちらの四国コカコーラスタジアムで委員会を開催させていただきました。施設ハード面では施工完了し、本年3月1日にオープンしました。これからは活用部分の評価が問題となつてまいりますので、ソフト面の充実について、担当のほか我々も含めて考えてまいりたいと思います。こちらの施設も含めて、今後ともよろしく申し上げます。</p>
大喜多政策課 長	<p>続きまして、事務局職員の自己紹介をします。</p> <p><出席職員、自己紹介></p>
大喜多政策課 長	<p>議事に入ります前に、本日の配布資料の確認をお願いします。</p> <p><資料確認></p>
大喜多政策課 長	<p>それでは、以後の進行につきましては、会長に議長をお願いします。</p>
金会長	<p>昨年に引き続き、皆様のご協力をお願いします。</p> <p>議事に入ります前に、本日8名の委員中7名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>次第に従いまして、「議事の1 平成26年度外部評価結果への対応」について事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づき説明></p>
金会長	<p>事務局からの説明について、ご意見がありましたらお願いします。</p>
岡本委員	<p>「1.文化芸術振興事業費」及び「2.生涯スポーツ推進事業費」の評価に対する所管課の対応が不十分であると認識しているとの説明であった。1の「見直しを検討」、2の「適切に支給」とはどういうことか。</p>
政策課真鍋	<p>「1.文化芸術振興事業費」の見直しについては、文化協会等への委託・補助は事業補助の部分が多いので、それが本当に市民の文化芸術振興に役立っているかを見直しして検討したようである。その結果、担当課では文化振興に寄与していると判断したので、補助事業として削るものはなかったという回答にな</p>

	<p>っている。</p> <p>「2. 生涯スポーツ推進事業費」については、委員会としてはこういう回答を求めているのではないと担当課には説明したが、補助金の見直し基準の把握・徹底が庁内で十分でないと感じる。</p> <p>今回 26 年度の補助金見直しチェックシートの内容も踏まえて 2 課と協議した。この補助金見直し基準では、「継続」、「原則として廃止」、「休止または減額」するものに分けて分類することになっているが、「継続」するものを選べるように補助金の説明をしているものがある。「継続」に少しでも該当するから、これは継続してもいいという判断が見られ、見直しの形骸化がある。1、2 の事業についても、一部分でも「継続」であれば、全体として「継続」という判断ではいけないと担当課とは話をしているところである。</p> <p>今後も継続して、もう一度補助金見直し基準に則って判断してもらえるよう協議していきたい。</p>
岡本委員	<p>補助金の見直しについては財務課が担当である。全補助金を見直して、無駄を省いて、必要な施策に振り分けていかなければいけない。補助金チェックの方法・見直しについては財務課にも伝えていただきたい。</p>
日野委員	<p>岡本委員の発言のとおり、本当に必要な部分にまわすことが必要である。行政評価では福祉の予算ばかり削っていると言われたことがある。今回、委員会で見直しという意見を出しているのに、こういう回答が返ってくるのはどうかと思う。</p>
金会長	<p>両委員から意見が出たが、政策課はどのように考えているのか。</p>
大喜多政策課長	<p>補助金や負担金については、合併後、財政が悪化した時に全て見直した。これらについては、今の時代に合った内容であるかを判断する必要があるので、財務課にも委員会の意見を伝えたい。</p>
石原委員	<p>所管課の対応部分で抽象的な内容の表現があり、市民には実際に何をどうしたのかが分からない。具体性のある表現にしていきたい。</p>
大喜多政策課長	<p>今後の方針という部分でそういう表現になっているところもある。基本的には具体性のある表現が必要と考えている。</p>
金会長	<p>他に意見もないようなので、議事の 1 については終わります。</p> <p>それでは、引き続き、議事の 2「平成 27 年度行政評価について」に進みます。事務局の説明をお願いします。</p>

政策課志村	<資料に基づき説明>
金会長	事務局の説明について、ご意見はありませんか。
石原委員	27年度評価対象事業として、この35事業を選んだ意図は何か。
政策課志村	平成26年度の予算大綱に掲げられている重点的施策のうち、25、26年度で評価対象となったもの、ゼロ予算事業などを除いて抽出している。
仁科委員	事業の選定に当たっては、もう少し事業内容が分かるような資料が必要である。
政策課真鍋	これまで2回の外部評価の選定時には、決算資料である主要な成果の冊子を8月頃にお渡しして参考にさせていただいたが、今年度はスケジュール上用意できない。必要な資料については用意したい。
金会長	今回は判定の部分で「完了」も選べるようにしているが、事務局の考えは。
政策課志村	ハード整備事業についても評価対象としていることから、判定の際に「完了」も選択肢に入れ、意見を付すような形にさせていただきたいと考えている。
富士川政策課副課長	事業としては完了しているが、これからこのように使っていけばなど目的面での意見を出していただきたい。
早馬委員	建物であれば今後の活かし方などで意見を出せる。道路については意見が難しいところはある。
石原委員	資料のNo5、6、7の道路整備事業については、地図などで路線を示していただきたい。
仁科委員	今回、特にハード事業については実際に見てみたいところもある。それも踏まえて評価を出したい。
大喜多政策課長	準備できる資料についてはお送りするので、それを参考に選択いただくということでどうか。
岡本委員	5月15日までに選定するとなると、事務局においても35全ての事業の詳しい資料を用意することは日程的に難しいと思う。本当に詳しい資料は5つの事

	業が決まってからでも構わない。資料には事業のポイントも記載されているので、委員の中で選定に当たって特に気になる部分だけを問い合わせる方法にすればよいのではないかと。
金会長	先に詳しい資料が必要という意見と、今回は気になる部分だけ問い合わせる詳しい資料は5事業が決まってからでもよいという意見が出ている。
仁科委員	選定時に道路整備事業で建設課や都市計画課で一括してすることができる。事務局としては選定についてどのような方法がいいのか。
大喜多政策課長	このスケジュールから考えると岡本委員の意見のとおり全ての事業で資料を揃えることは難しい。
金会長	基本的に、連休前までに選定に当たって必要と考えるものは事務局に請求していただき、回答については全委員にお願いする。ただし複雑な内容などは対応できないこともあるので了承いただきたい。今時点で申し出があれば、発言いただきたい。
日野委員	完了している事業、継続のものもあるので、少なくともいつ完了という内容はお知らせいただきたい。
早馬委員	14 学校教育施設安全対策事業費と 15 保育所施設整備事業費と分かれている。施設の耐震化という目的が同じということを見ると分ける理由はあるのか。
大喜多政策課長	予算大綱の重点施策から抽出していることから、このような区分となっている。今後の選定の中でまとめていただいてもよい。
仁科委員	事業を課ごとにまとめてもらえれば、事業を選定しやすくなり大きく評価ができる。
金会長	今回、事務局でも日程面における委員会の負担のことも考え、35 事業の中での 5 事業という少ない数にさせていただいている。事業をまとめていくとなるとボリュームも増えるので、そのことも含めて考えていただき選定いただきたい。また事業内容で質問したいことがあれば事務局に問い合わせさせていただきたい。 完了という判断の使用についてはどうするのか。
政策課志村	選定した事業によっては、選択肢として使用する場合もある。必要なければ使用しなくてもよい。

<p>政策課真鍋</p>	<p>26年度の小手島保育ママ事業費を評価した際に、事業としては完了していたが、維持という方向性の判断をして意見を付した。そのような場合に使用したらよい。</p>
<p>金会長</p>	<p>それでは、5月15日までに事務局に選定結果をお送りいただきたい。議事の2については終わります。最後に、議事の3「その他」ですが、事務局から何かありますか。</p>
<p>政策課志村</p>	<p>次回委員会の日程調整をお願いします。</p> <p><日程調整></p>
<p>金会長</p>	<p>以上で本日の会議は終了します。お疲れ様でした。</p>